

ここがいい! こながい



諫早市立小長井図書館

〒859-0165
諫早市小長井町小川原浦825
(小長井文化ホール内)
0957-34-2972
開室時間 午前10時~午後6時

小長井図書館だより

2020(令和2)年 7月号 No.239

利用者の皆さまへ

現在、諫早市立図書館・図書室では新型コロナウイルス感染症対策のため、以下のことに取り組んでいます。

- ◎手指の消毒、マスクの着用をお願いしています。
- ◎人と人との間隔を確保するため、座席の数を減らしています。
- ◎換気が難しい部屋は、利用できません。



皆さまのご理解と、ご協力をお願いします。

諫早図書館

「長崎新聞データベースplus日経テレコン」データベースサービス

諫早図書館では、今年度から長崎新聞の記事をデータベースで検索できるようになりました。地域から国内外まで、気になるニュースを検索、活用できます。

- 1999年7月10日以降の長崎新聞を収録(事件事故、お悔やみは除く)
- PDFで紙面の切り抜きイメージを表示(2018年4月3日以降)、印刷可能
- 登録したキーワードで記事を自動収集するクリッピング機能

次のように活用できる**便利なビジネスツール**です。

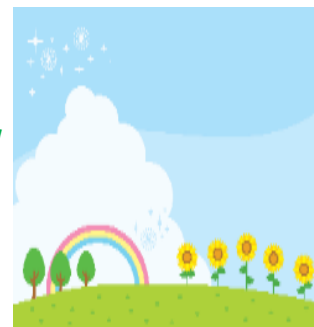
- ・業務に直結する情報収集
- ・企業や団体・自治体の人事情報、企業動向の把握に
- ・顧客とのコミュニケーション、話題づくりに
- ・迅速な情報把握



どうぞご利用ください。なお、お問い合わせは、諫早図書館(23-4946)へ

もうすぐ夏休み!

小長井図書館にきてね!



かだいとしょ 課題図書について お知らせ

いさはやしりつ としよかん としよしつ どくしょかんそうぶん かだい としよ どくしょかんそうが してい
諫早市立図書館・図書室では、読書感想文コンクール課題図書や読書感想画指定
としよ と 図書を取りそろえています。

★予約できます。ただし、7月1日(水曜日)からは、1人1冊の予約です。

☾7月17日(金曜日)からの貸出は、1人1冊で1週間となります。

また、自由研究の調べものでも図書室をご利用ください。



おはなし会のお知らせ

しばらくお休みしていたおはなし会を、7月からふたたび始めます。

しんがた かんせんよぼう
新型コロナウイルス感染予防のために、手や指の消毒と、マスクをつけての参加をお願いします。

とも あいだ ひさ
お友だちとの間をあけて、久しぶりのおはなし会をいっしょに楽しみましょう!



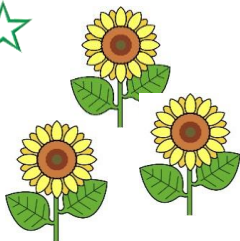
7月 カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■: 休館日

■: おはなし会

☆新しく入った本☆



<一般書>

『ヒポクラテスの試練』 中山 七里:著

急激に悪化する謎の“肝臓がん”。相次ぐ不審死は、未曾有のパンデミックの始まりなのか？死者の声なき声を聞く、法医学ミステリー・シリーズ第3弾。

『漣のゆくえ 梶 よう子:著 (とむらい屋颯太)』

ここに集まった者は、なにかを抱えている。それは苦しみであり、胸が張り裂けるほどの悲しみである。死者が残した未練や無念、生者が抱えた哀惜や苦悩を描くとむらいの物語、第2弾。

『あしたの華姫』 畠中 恵:著

両国の地回りの親分に跡目争いが持ち上がる。娘のお夏を守るように命じられたヘタレの芸人月草が、“まこと”を見通す姫様人形お華と、西へ東へ駆け回る!

『不良』 北野 武:著

ときは1960年代。中学の入学式で出会った少年・キーちゃんが、茂の運命を決めた…。無鉄砲で儂い10代の少年たちを、時代と土地の匂いそのままに描き出す、青春バイオレンス小説。

『生かさず、殺さず』 久坂部 羊:著

認知症専門病棟の医師・三杉のもとに、元同僚で鳴かず飛ばずの小説家・坂崎が現われ、三杉の過去をモデルに「認知症小説」の問題作を書こうと迫り…。現役医師が描いた医療サスペンス。

ほか

『身のまわりのもののできる手作りマスク』 『汽水の匂いに包まれて(牡蠣養殖100年)』
『冷たい麺の本』 『カビの取扱説明書』

<児童書>

『おんどりあるくよ』 リチャード・スキヤリー/さく 木坂 涼/やく

おんどりあるくよ、どうどうと。ひよこもあるくよ、まねをして。かもはよちよち、がちょうはふりふり、おしりをふってあるくよ。鳥や動物、虫に魚、いろいろないきものがつぎつぎに登場する絵本。

『くろりすくんとしまりすくん』 いとう ひろし/作・絵

しまりすくんは、地面の下に家をつくり、冬のあいたはねてすごします。くろりすくんは、木の上に家をつくり、1年中おきています。そんな2ひきが、森の中で出会って…。2ひきのりすの1年間のものがたり。

『トリコロールをさがして』 戸森 しるこ/作

真青のなやみは、幼なじみの6年生、真姫ちゃんが冷たいこと。それって、わたしが4年生だからなの？女の子たちのびみょうで、せんさいな心と成長を描く、さわやかでちょっぴり苦い物語。

『エルシーと魔法の一週間』 ケイ・ウマンスキー/著 岡田 好恵訳

四月のある晴れた土曜日、お父さんが経営する「ピクルス百貨店」でエルシーが店番をしていると、なんとそこに魔女があらわれました。エルシーは森のおくの「魔女の塔」で一週間の留守番アルバイトをすることに…?

『赤毛証明』 光丘 真理/作

今日、あたしは、「ふつう」でない印をおされた。生徒手帳の1ページ真ん中に、赤いゴム印で「赤毛証明」と…。「ふつう」ってなに？この髪、どうしてダメですか？「自分らしく生きる」ために声を上げる少女の物語。

ほか

『うみのダンゴムシ・やまのダンゴムシ』

『摂食障害オバケの“ササヤキ”』

『青鬼 [6] 断章編』

